

総務

1. 消防の沿革

(1) 伊予市消防本部

昭和 40 年 4 月 1 日	伊予市は消防組織法第10条に基づく政令指定を受け、昭和42年4月1日までの間に消防本部及び消防署の設置が義務づけられた。
昭和 41 年 3 月 22 日	消防本部・署の庁舎落成（木造2階建 延面積281.97㎡）
昭和 41 年 12 月 23 日	伊予市消防本部及び消防署に関する条例制定
昭和 42 年 3 月 31 日	130PS森田式日産FGジープ型42年式を配備 [消防署]
昭和 42 年 4 月 1 日	消防本部・署を開設、常備消防の体制を確立 管理委託のジープ型ポンプ車1台配備、三輪ポンプ車を廃車 職員数 18名
昭和 42 年 5 月 28 日	トヨペットRS31型を譲り受け、指揮車として配備 [消防署]
昭和 44 年 6 月 9 日	日本損害保険協会からの寄贈により125PSトヨタA級を配備、三輪ポンプ自動車を廃車 [消防署] 消防署のトヨタジープ型ポンプ自動車を第3分団第6部に配備
昭和 45 年 12 月 25 日	日本自動車工業会からの寄贈により救急自動車（ニッサン B型）を配備 [消防署]
昭和 46 年 1 月 1 日	任意救急業務開始

(2) 伊予消防組合

昭和 46 年 6 月 8 日	伊予市を中心とする松前町、砥部町、広田村、中山町及び双海町の各市町村を含め消防常備化促進協議会開催
昭和 46 年 9 月 28 日	消防組合、消防本部、消防署、設置政令指定希望申請
昭和 47 年 1 月 19 日	伊予市並びに伊予郡内各町村共催による消防組合設置準備会開催
昭和 47 年 2 月 18 日	消防組合設立準備委員会設置
昭和 47 年 2 月 23 日	消防組合第1回設立準備委員会開催
昭和 47 年 4 月 1 日	構成町村政令指定を受ける
昭和 47 年 4 月 10 日	消防組合第1回設立幹事会開催
昭和 47 年 4 月 17 日	消防組合第2回設立幹事会開催
昭和 47 年 5 月 25 日	消防組合第3回設立幹事会開催
昭和 47 年 5 月 27 日	消防組合第2回設立準備委員会開催
昭和 47 年 7 月 10 日	消防組合第3回設立準備委員会開催
昭和 47 年 7 月 17 日	消防組合第4回設立幹事会開催
昭和 47 年 7 月 25 日	消防組合第5回設立幹事会開催
昭和 47 年 7 月 31 日	消防組合第4回設立準備委員会開催
昭和 47 年 8 月 21 日	消防組合第5回設立準備委員会開催
昭和 47 年 9 月 13 日	愛媛県知事から指令地第737号をもって、伊予市、松前町、砥部町、広田村、中山町及び双海町で構成する伊予消防組合が発足
昭和 47 年 10 月 24 日	伊予消防組合第6回設立幹事会開催
昭和 47 年 11 月 16 日	伊予消防組合第6回設立準備委員会開催
昭和 48 年 3 月 30 日	伊予市消防本部及び消防署を基幹に、1本部、1署、1分署、4出張所、職員数68名をもって開署式を挙行、翌31日消防業務を開始 職員数 70名
昭和 49 年 4 月 1 日	職員数 70名
昭和 49 年 4 月 5 日	補助事業により日機式消防ポンプ自動車（BS-I型）を配備 [広田出張所]
昭和 49 年 11 月 25 日	補助事業により森田式化学車（I型）を配備 [松前分署]
昭和 50 年 4 月 1 日	職員数 72名
昭和 50 年 12 月 10 日	砥部出張所庁舎新築（鉄筋コンクリート造一部3階建 延面積344.47㎡）

昭和 50 年 12 月 18 日 補助事業により森田式消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）1台を配備
[消防本部（署）]

昭和 51 年 4 月 23 日 日本損害保険協会からの寄贈により救急自動車（トヨタ 2B型）
を配備 [消防本部（署）]

昭和 52 年 3 月 31 日 松前分署消防庁舎増築（鉄筋ブロック造平屋建65.25㎡）

昭和 52 年 4 月 26 日 救急自動車（トヨタ 2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [双
海出張所]

昭和 53 年 3 月 16 日 補助事業により森田式消防ポンプ自動車（BS-Ⅰ型）を配備
[松前分署]

昭和 53 年 3 月 28 日 松前町ライオンズクラブからの寄贈により広報車（ニッサン
ブルーバード）を配備 [松前分署]

昭和 53 年 4 月 1 日 職員数 78名

昭和 54 年 4 月 1 日 職員数 79名

昭和 54 年 6 月 25 日 広報車（ニッサン バイオレット）を配備 [双海出張所]

昭和 54 年 10 月 29 日 広報車（ニッサン サニー）を配備 [広田出張所]

昭和 54 年 12 月 5 日 広報車（ニッサン セドリックバン）を配備 [砥部出張所]
砥部出張所の旧広報車を中山出張所に譲渡 [中山出張所]

昭和 55 年 7 月 8 日 消防署庁舎新築（鉄筋コンクリート造3階建一部塔屋付 延面
積1,263.60㎡）

昭和 55 年 11 月 6 日 日本損害保険協会からの寄贈により消防ポンプ自動車を配備
[消防本部（署）]

昭和 55 年 12 月 26 日 日本損害保険協会からの寄贈により救急自動車（トヨタ 2B
型）を配備、旧救急自動車を廃車 [中山出張所]

昭和 56 年 1 月 22 日 救急自動車（トヨタ 2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [砥
部出張所]

昭和 56 年 4 月 1 日 職員数 85名

昭和 56 年 12 月 25 日 広報車（ニッサン）を配備、旧車両を町役場へ譲渡 [双海出
張所]

昭和 57 年 2 月 9 日 北条市消防本部より救急自動車（トヨタ）を譲り受け、救急
自動車を広報車に転用、旧広報車を廃車 [広田出張所]

昭和 57 年 4 月 1 日 職員数 88名

(3) 伊予消防等事務組合

昭和 57 年 7 月 31 日 愛媛県知事から指令市第609号をもって組合規約の変更が許可さ
れ、同日付をもって組合名称が伊予消防組合から伊予消防等事
務組合となる。

昭和 57 年 11 月 2 日 双海出張所庁舎増築（増築面積32.07㎡）

昭和 57 年 11 月 16 日 補助事業（県単）により日機式消防ポンプ自動車（BD-Ⅰ型）を
配備、旧ポンプ車を廃車 [双海出張所]

昭和 57 年 12 月 1 日 （株）山之内製菓からの寄贈により救急自動車（ニッサン 2B
型）を配備、旧救急自動車を廃車 [消防本部（署）]

昭和 57 年 12 月 21 日 広報車（トヨタ カローラ）を配備、旧救急自動車を廃車 [消
防本部（署）]

昭和 58 年 3 月 2 日 消防庁長官表彰（竿頭綬）受章

昭和 58 年 4 月 1 日 職員数 92名

昭和 59 年 3 月 6 日 補助事業により森田式水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備
[消防本部（署）]

昭和 59 年 4 月 1 日 職員数 94名

昭和 59 年 8 月 29 日 （財）日本消防協会からの寄贈により救急自動車（ニッサン
2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [広田出張所]

昭和 60 年 12 月 16 日 伊豫信用金庫からの寄贈により救急自動車（トヨタ 2B型）を
配備、旧救急自動車を廃車 [松前分署]

昭和 60 年 12 月 18 日	指令車（トヨタ クラウンバン）を単独事業により配備、旧指令車を廃車 [消防本部（署）]
昭和 61 年 4 月 1 日	職員数 99名
昭和 61 年 11 月 7 日	（財）日本防火協会からの寄贈により伊予地区少年婦人防火委員会に防火広報車（いすゞ ファーゴ）を配備 [消防本部]
昭和 61 年 12 月 24 日	愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動車（ニッサン 2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [双海出張所]
昭和 62 年 3 月 12 日	旧広報車を廃車 [広田出張所]
昭和 62 年 4 月 1 日	職員数 102名
昭和 62 年 7 月 21 日	単独事業により広報車（トヨタ カローラバン）を配備 [広田出張所]
昭和 62 年 8 月 28 日	（財）日本消防協会からの寄贈により救急自動車（トヨタ 2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [砥部出張所]
昭和 63 年 3 月 5 日	伊豫信用金庫からの寄贈により救急車（トヨタ 2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [消防本部（署）・中山出張所]
昭和 63 年 3 月 8 日	補助事業（県単）により日機式消防ポンプ自動車（BS-I型）を配備、旧ポンプ車を廃車 [広田出張所]
昭和 63 年 3 月 22 日	補助事業（県単）により小川式消防ポンプ自動車（BD-I型）を配備、旧ポンプ車を廃車 [中山出張所]
平成 元年 4 月 1 日	職員数 101名
平成 3 年 2 月 2 日	国庫補助事業により消防緊急情報システム（I型）を設置 [消防本部（署）]
平成 3 年 3 月 26 日	松前分署庁舎及び松前防災センター新築（鉄筋コンクリート造3階建一部4階建 延面積1,783.82㎡）
平成 3 年 3 月 30 日	補助事業（県単）により小川式消防ポンプ自動車（BD-I型）を配備、旧ポンプ車を廃車 [砥部出張所]
平成 3 年 4 月 1 日	消防本部及び消防署に関する条例の一部改正により、消防署を伊予消防署に、松前分署を松前消防署に名称を変更 職員数 100名
平成 3 年 8 月 9 日	広報車（トヨタ マークII）を配備 [松前消防署]
平成 3 年 12 月 14 日	広報車（トヨタ マークII）を配備 [双海出張所]
平成 3 年 12 月 21 日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を廃車 [消防本部（署）]
平成 4 年 3 月 31 日	旧広報車（ニッサン ブルーバード）を廃車 [松前消防署]
平成 4 年 4 月 1 日	職員数 106名
平成 4 年 4 月 14 日	広田出張所庁舎新築（1階鉄筋コンクリート造、2階木造 2階建 延面積211.98㎡）
平成 4 年 6 月 16 日	防火広報車を廃車 [消防本部]
平成 4 年 12 月 18 日	補助事業により消防ポンプ自動車（CD-I型）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 3 月 23 日	日本損害保険協会からの寄贈により救助工作車（II型）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 3 月 31 日	旧消防ポンプ自動車（CD-II型）を廃車 [消防本部（署）]
平成 5 年 4 月 1 日	救助隊発足（職員8名配置） 職員数 117名
平成 5 年 6 月 29 日	広報車（スバル 軽ワゴン4WD）を配備 [砥部出張所]
平成 5 年 8 月 5 日	旧広報車（ニッサン セドリックバン）を廃車 [砥部出張所]
平成 5 年 10 月 12 日	査察車（三菱 軽ワゴン4WD）を配備 [消防本部（署）]
平成 5 年 10 月 27 日	愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動車を配備、旧救急自動車を廃車 [松前消防署]
平成 5 年 12 月 8 日	補助事業によりはしご付消防ポンプ自動車（20m級）を配備 [松前消防署]
平成 6 年 1 月 1 日	はしご隊発足（職員6名配備）

平成 6 年 4 月 1 日 職員数 124名
 平成 6 年 6 月 29 日 資機材搬送車（トヨタ ハイエース）を配備 [中山出張所]
 平成 6 年 11 月 10 日 補助事業により化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備 [松前消防署]
 平成 6 年 11 月 22 日 旧化学車（Ⅰ型）を廃車 [松前消防署]
 平成 7 年 3 月 15 日 救急自動車（2B型）及び広報車（ニッサン ADバン）を配備、
 旧救急自動車及び旧広報車（トヨタ カローラバン）を廃車
 [消防本部（署）]
 平成 7 年 4 月 1 日 職員数 126名
 平成 7 年 11 月 29 日 補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備 [松前消防署]
 平成 7 年 12 月 4 日 消防ポンプ自動車（BS-Ⅰ型）を廃車 [松前消防署]
 平成 8 年 3 月 11 日 伊予消防署に救助訓練塔、車庫棟新築（183.54㎡）
 平成 8 年 4 月 1 日 職員数 134名
 平成 8 年 8 月 1 日 水難救助隊発足 [伊予消防署]
 平成 8 年 8 月 2 日 救急自動車（2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [広田出張所]
 平成 8 年 11 月 18 日 愛媛県共済農業協同組合連合会からの寄贈により救急自動車
 （2B型）を配備 [伊予消防署]
 平成 8 年 12 月 6 日 救急自動車（2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [双海出張所]
 平成 9 年 2 月 26 日 高速救急隊発足 [伊予消防署]
 平成 9 年 4 月 1 日 職員数 133名
 平成 9 年 9 月 26 日 救急自動車（2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [中山出張所]
 平成 10 年 3 月 16 日 救急自動車（2B型）を配備、旧救急自動車を廃車 [砥部出張所]
 平成 10 年 3 月 31 日 伊予消防署庁舎増築（103.60㎡）計1,367.20㎡
 平成 10 年 4 月 1 日 携帯電話119番通報受信運用開始
 職員数 137名
 平成 10 年 12 月 28 日 補助事業により消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を配備、旧消防ポンプ
 自動車を廃車 [双海出張所]
 平成 11 年 3 月 31 日 小型動力ポンプ付水槽車を配備、旧小型動力ポンプ付水槽車
 を廃車 [砥部出張所]
 平成 11 年 4 月 1 日 職員数 139名
 平成 11 年 7 月 19 日 広報車（ニッサン ウィングロード4WD）を配備、旧広報車を廃
 車 [広田出張所]
 平成 11 年 8 月 27 日 資機材搬送車（ホンダ 軽四トラック）を配備 [双海出張所]
 平成 11 年 11 月 29 日 指令車を配備、旧指令車を廃車 [消防本部（署）]
 平成 12 年 2 月 28 日 補助事業により消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を配備、旧消防ポン
 プ自動車を廃車 [松前消防署]
 平成 12 年 3 月 21 日 補助事業により高規格救急自動車を配備、旧救急自動車を
 廃車 [消防本部（署）]
 平成 12 年 4 月 1 日 救急救命士による特定行為運用開始
 職員数 140名
 平成 12 年 11 月 21 日 補助事業により高規格救急自動車を配備、旧救急自動車を廃
 車 [松前消防署]
 平成 12 年 12 月 5 日 補助事業により小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）を配備 [消
 防本部（署）]
 平成 13 年 4 月 1 日 職員数 146名
 平成 14 年 4 月 1 日 職員数 145名
 平成 15 年 4 月 1 日 職員数 147名
 平成 15 年 11 月 25 日 旧消防ポンプ自動車（ニッサン サファリ）を廃車 [消防本部
 （署）]

平成 16 年 4 月 1 日 水難救助隊廃止（伊予消防署）
職員数 146名

平成 16 年 12 月 17 日 補助事業により消防ポンプ自動車（CD- I 型）を配備、旧消防ポンプ自動車を廃車〔中山出張所〕

平成 16 年 12 月 21 日 補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配備、旧森田式水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を廃車〔消防本部（署）〕

平成 16 年 12 月 27 日 愛媛県知事から指令16市（合）第307号をもって組合規約の変更が許可され、市町村合併により平成17年1月1日付けをもって、1市4町の構成となる。

平成 17 年 2 月 10 日 中山出張所庁舎新築（鉄骨造2階建 延面積416.36㎡）
中山出張所に救助訓練塔、訓練資材庫新築（12.00㎡）

平成 17 年 3 月 23 日 愛媛県知事から指令16市（合）第422号をもって組合規約の変更が許可され、市町村合併により平成17年4月1日付けをもって、1市2町の構成となる。

平成 17 年 4 月 1 日 職員数 147名

平成 18 年 3 月 16 日 高規格救急自動車を配備〔砥部出張所〕
救急自動車（2B型）を配置変更〔砥部出張所から広田出張所〕

平成 18 年 4 月 1 日 広田出張所の救急自動車（2B型）を予備車として配備〔消防本部〕
職員数 148名

平成 18 年 8 月 1 日 広報車（ダイハツ ハイゼット4WD）を配備、旧広報車を廃車〔砥部出張所〕

平成 18 年 12 月 21 日 補助事業により高規格救急自動車を配備〔双海出張所〕

平成 19 年 1 月 25 日 救急自動車（2B型）を廃車〔双海出張所〕

平成 19 年 4 月 1 日 組織再編により、砥部出張所を砥部消防署に名称を変更し、1本部3消防署3出張所体制となる。
職員数 148名

平成 19 年 10 月 23 日 査察車（ニッサン クリッパーバン）を配備、旧査察車を廃車〔伊予消防署〕

平成 19 年 11 月 26 日 査察車（ダイハツ ハイゼット4WD）を配備〔中山出張所〕

平成 19 年 12 月 26 日 双海出張所庁舎新築（鉄骨造2階建 延面積327.41㎡）

平成 20 年 4 月 1 日 職員数 156名

平成 20 年 6 月 20 日 資機材搬送車（ニッサン アトラス）を配備〔伊予消防署〕

平成 21 年 2 月 9 日 高規格救急自動車を配備、旧救急自動車（2B型）を廃車〔伊予消防署〕

平成 21 年 4 月 1 日 職員数 153名

平成 21 年 11 月 27 日 広報車（ニッサン クリッパーバン）を配備〔双海出張所〕

平成 21 年 12 月 10 日 旧広報車（トヨタ マークⅡ）を廃車〔双海出張所〕

平成 22 年 2 月 9 日 高規格救急自動車を配備〔松前消防署〕

平成 22 年 2 月 10 日 高規格救急自動車を配備〔中山出張所〕

平成 22 年 2 月 25 日 救急自動車（2B型）を廃車〔中山出張所〕

平成 22 年 3 月 16 日 指揮支援車（トヨタ ハイエース）を配備〔松前消防署〕

平成 22 年 3 月 26 日 消防ポンプ自動車（BD- I 型）を廃車〔広田出張所〕

平成 22 年 3 月 30 日 救急予備車（2B型）を廃車〔消防本部〕
消防ポンプ自動車（CD- I 型）を配備〔砥部消防署〕
旧消防ポンプ自動車を配置変更〔砥部消防署から広田出張所〕

平成 22 年 3 月 31 日 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を配備 [伊予消防署]
松前消防署の旧高規格救急自動車を予備車として配備 [消防本部]

平成 22 年 4 月 1 日 砥部町からの寄贈により小型動力ポンプ付積載車を配備 [砥部消防署]
職員数 155名

平成 22 年 4 月 8 日 旧広報車 (トヨタ マーク II) を廃車 [松前消防署]

平成 22 年 5 月 18 日 旧消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を廃車 [伊予消防署]

平成 23 年 2 月 7 日 全国共済農業協同組合連合会からの寄贈により高規格救急自動車を配備 [伊予消防署]

平成 23 年 2 月 10 日 予備車 (高規格救急自動車) を廃車 [消防本部]

平成 23 年 2 月 15 日 伊予消防署の旧高規格救急自動車を予備車として配備 [消防本部]

平成 23 年 4 月 1 日 職員数 156名

平成 23 年 5 月 26 日 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を廃車 [広田出張所]

平成 23 年 9 月 16 日 ワゴン車 (トヨタ ハイエース) を配備 [伊予消防署]

平成 24 年 2 月 10 日 消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を配備 [広田出張所]

平成 24 年 3 月 21 日 資機材搬送車 (トヨタ ハイエースバン) を廃車 [松前消防署]

平成 24 年 3 月 30 日 資機材搬送車 (日野 デュトロ) を配備 [松前消防署]

平成 24 年 4 月 1 日 職員数 155名

平成 24 年 10 月 19 日 資機材搬送車 (トヨタ ハイエース) を廃車 [中山出張所]

平成 25 年 2 月 7 日 高規格救急自動車を配備 [広田出張所]

平成 25 年 2 月 15 日 資機材搬送車 (スズキ エブリイ) を配備 [中山出張所]

平成 25 年 3 月 8 日 救急自動車 (2B型) を廃車 [広田出張所]

平成 25 年 3 月 19 日 消防緊急通信指令システム (II 型) を消防本部に整備
補助事業により消防救急デジタル無線施設を整備

平成 25 年 3 月 22 日 伊予消防署庁舎・車庫棟新築 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 延面積2,140.01㎡)
伊予消防署訓練塔新築 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造5階建 延面積530.30㎡)
伊予消防署砂置き場新築 (鉄骨造平屋建 延面積18.00㎡)

平成 25 年 4 月 1 日 職員数 157名

平成 25 年 11 月 12 日 本部連絡車 (ホンダ フィット) を配備 [消防本部]

平成 25 年 12 月 20 日 高規格救急自動車を配備 [双海出張所]
旧高規格救急自動車を予備車として配備 [消防本部]

平成 25 年 12 月 24 日 旧予備車 (高規格救急自動車) を廃車 [消防本部]

平成 26 年 1 月 31 日 砥部消防署庁舎・車庫棟新築 (鉄筋コンクリート造3階建、一部鉄骨造5階建 延面積1,218.17㎡)
砥部消防署訓練主塔新築 (鉄骨造5階建 延面積138.00㎡)
土のう備蓄庫新築 (鉄筋コンクリート造平屋建 延面積10.20㎡)

平成 26 年 2 月 5 日 水槽付消防ポンプ自動車を配備 [松前消防署]

平成 26 年 2 月 19 日 旧水槽付消防ポンプ自動車 (II 型) を廃車 [松前消防署]

平成 26 年 2 月 20 日 救助工作車 (II 型) を配備 [消防本部]

平成 26 年 2 月 26 日 旧救助工作車 (II 型) を廃車 [消防本部]

平成 26 年 4 月 1 日 職員数 156名

平成 27 年 1 月 26 日 資機材搬送車を配備 [双海出張所]

平成 27 年 2 月 19 日 旧資機材搬送車を廃車 [双海出張所]

平成 27 年 2 月 16 日 高規格救急自動車を配備 [砥部消防署]

平成 27 年 3 月 19 日 旧高規格救急自動車を一般競争入札により売却 [砥部消防署]

平成 27 年 3 月 17 日 30m災害対応特殊はしご付き消防自動車を配備 [松前消防署]

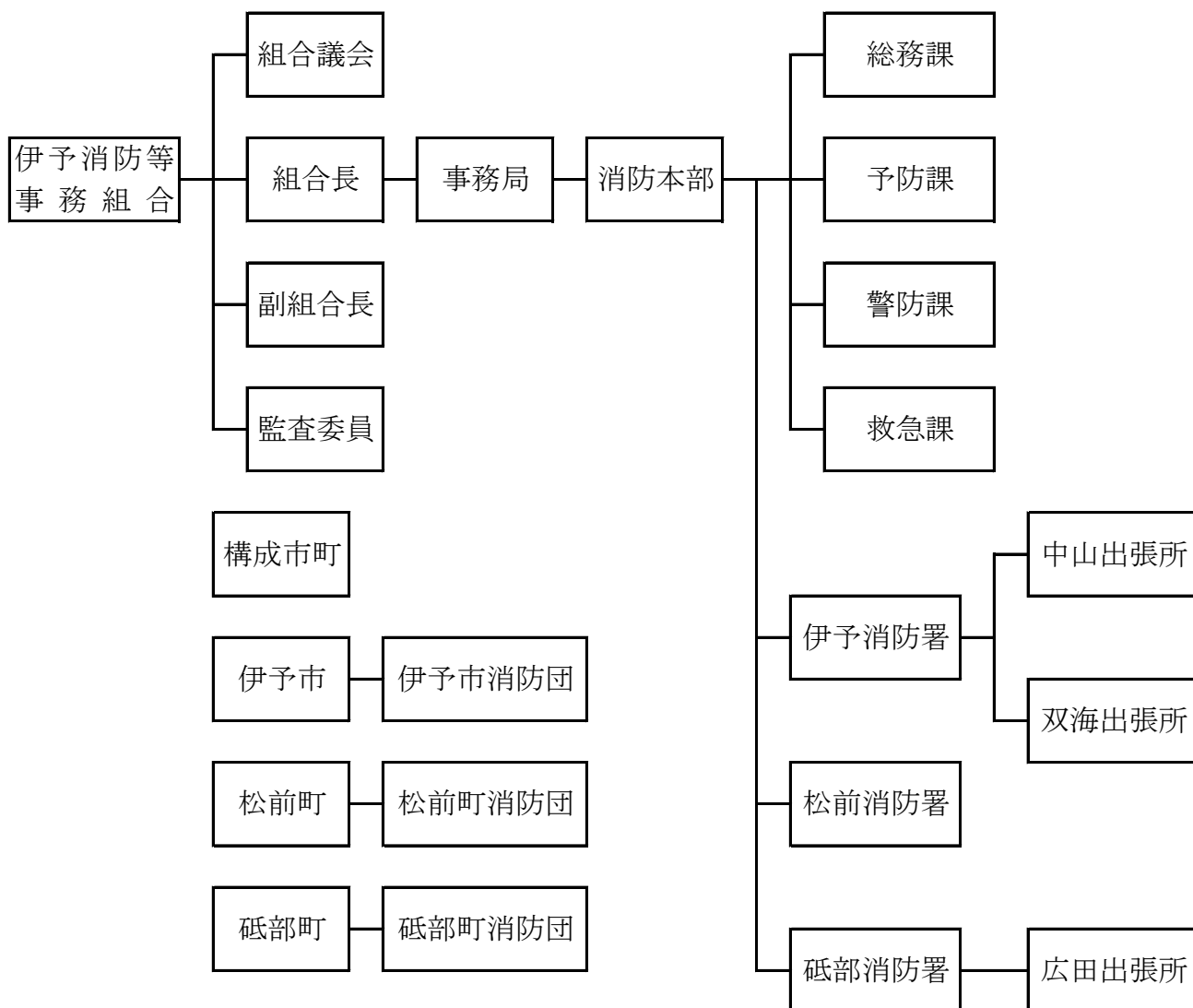
平成 27 年 4 月 1 日 職員数 156名

平成 27 年 5 月 15 日	はしご付消防ポンプ自動車 (20m級) を譲渡 (海外支援) [松前消防署]
平成 28 年 2 月 19 日	化学消防ポンプ自動車 (Ⅱ型) を配備 [松前消防署]
平成 28 年 2 月 25 日	旧消防ポンプ自動車を廃車 [松前消防署]
平成 28 年 3 月 22 日	消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型) を配備 [松前消防署]
平成 28 年 4 月 1 日	職員数 158名 (事務局職員1名・消防職員157名)
平成 28 年 4 月 1 日	水槽付消防ポンプ自動車 (平成26年2月5日 配備) を配置変更 [松前消防署から砥部消防署]
平成 28 年 4 月 13 日	旧化学消防ポンプ自動車を廃車 [松前消防署]
平成 28 年 12 月 21 日	旧予備車 (高規格救急自動車) を譲渡 (海外支援) [消防本部] 小型動力ポンプ付水槽車を譲渡 (海外支援) [砥部消防署]
平成 29 年 3 月 31 日	査察車 (平成19年11月26日 配備) を配置変更 [中山出張所から伊予消防署] 資機材搬送車 (平成27年1月26日 配備) を配置変更 [双海出張所から伊予消防署]
平成 29 年 4 月 1 日	職員数 158名 (事務局職員2名・消防職員156名)
平成 29 年 7 月 3 日	本部業務連絡車 (スズキ ワゴンR) を配備 [消防本部]
平成 30 年 4 月 1 日	職員数 159名 (事務局職員2名・消防職員157名)
平成 31 年 2 月 4 日	高規格救急自動車を更新 [伊予消防署]
平成 31 年 2 月 12 日	高規格救急自動車を配置変更 [伊予消防署から松前消防署] 松前消防署の旧高規格救急車を予備車として配備 [消防本部]
平成 31 年 3 月 14 日	消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型) を更新 [双海出張所]
平成 31 年 3 月 25 日	旧高規格救急自動車 (予備車) を譲渡 (海外支援) [伊予消防署]
平成 31 年 4 月 1 日	職員数 158名 (事務局職員2名・消防職員156名) 双海出張所の消防ポンプ自動車を予備車として配備 [砥部消防署]
令和 2 年 3 月 10 日	松山市消防局から高規格救急車の譲渡を受ける。
令和 2 年 4 月 1 日	職員数 157名 (事務局職員2名・消防職員155名)
令和 2 年 4 月 20 日	松山市消防局から譲渡された高規格救急車を中山出張所に配備 中山出張所の高規格救急車を廃車
令和 3 年 3 月 17 日	高規格救急車を更新 [消防本部・中山出張所]
令和 3 年 3 月 24 日	高規格救急自動車を配置変更 [消防本部から松前消防署] 松前消防署の旧高規格救急車を予備車として配置変更 [消防本部]
令和 3 年 4 月 1 日	職員数 156名 (事務局職員2名・消防職員154名)
令和 4 年 3 月 24 日	34号車を廃車 [砥部消防署]
令和 4 年 4 月 1 日	職員数 159名 (事務局職員2名・消防職員157名)
令和 5 年 3 月 10 日	本部連絡車を廃車 [消防本部]
令和 5 年 4 月 1 日	職員数 157名 (事務局職員2名・消防職員155名)
令和 6 年 1 月 30 日	消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型) を更新 [中山出張所]
令和 6 年 3 月 27 日	34号車 (資機材搬送車) を配備 [砥部消防署]
令和 6 年 3 月 29 日	災害支援車 (三菱 デリカ) を配備 [消防本部] 35号車 (資機材搬送車) を廃車 [砥部消防署]
令和 6 年 4 月 1 日	職員数 158名 (事務局職員2名・消防職員156名) (一社)日本自動車工業会からの寄贈により高規格救急自動車を配備 [砥部消防署] 砥部消防署の旧高規格救急車を予備車として配備 [消防本部]
令和 6 年 5 月 31 日	旧救急予備車を廃車 [消防本部]
令和 6 年 9 月 27 日	本部連絡車 (ホンダ フィット) を配備 [消防本部]
令和 7 年 3 月 31 日	本部指令車 (ニッサン セフィーロワゴン) を廃車 [消防本部]

令和 7 年 4 月 1 日 職員数 158名（事務局職員2名・消防職員156名）
令和 7 年 11 月 14 日 広田出張所庁舎新築（木造及び鉄骨造（混構造）平屋建
延床面積320.36㎡）
令和 8 年 3 月 17 日 高規格救急車を更新〔双海出張所〕
令和 8 年 3 月 31 日 旧高規格救急車を廃車〔双海出張所〕
令和 8 年 3 月 31 日 予備消防ポンプ自動車を廃車〔消防本部〕
令和 8 年 4 月 1 日 職員数 159名（事務局職員2名・消防職員157名）
令和 8 年 4 月 1 日 砥部町から小型動力ポンプ積載車の譲与を受け予備車として配備
〔消防本部〕

2. 消防機構

(1) 組合消防本部・署組織



(2) 消防庁舎の現況

名 称	所 在 地	建 築 構 造	建築延面積
消 防 本 部 伊 予 消 防 署	伊予市下吾川950-3	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	2,140.01㎡
伊 予 消 防 署 中 山 出 張 所	伊予市中山町中山丑508	鉄骨造2階建	416.36㎡
伊 予 消 防 署 双 海 出 張 所	伊予市双海町上灘甲5818-1	鉄骨造2階建	327.41㎡
松 前 消 防 署 (防災センター含)	伊予郡松前町大字筒井809-1	鉄筋コンクリート造3階建 一部4階建	1,783.82㎡
砥 部 消 防 署	伊予郡砥部町宮内1350-2	鉄筋コンクリート造3階建 一部鉄骨造5階建	1,218.17㎡
砥 部 消 防 署 広 田 出 張 所	伊予郡砥部町総津424-1	木造及び鉄骨造(混構造)平屋建	320.36㎡

3. 消防本部の事務分掌

- 総務課 機構及び組織に関すること。
消防関係例規の制定又は手続きに関すること。
職員の人事管理並びに給料及び諸手当に関すること。
職員の給貸与品に関すること。
職員の出張、研修及び福利厚生に関すること。
公印の管守に関すること。
予算その他経理に関すること。
物品の購入、修繕、出納及び公有財産の管理に関すること。
消防業務の総合施策及び運営に関すること。
規律保持、志気作興及び表彰並びに監察に関すること。
調査統計及び広報に関すること。
職員の教養訓練に関すること。
秘書、渉外並びに各署及び出張所間の連絡調整に関すること。
消防業務研究会に関すること。
消防職員委員会に関すること。
個人情報保護に関すること。
情報公開に関すること。
他の課に属さない事項に関すること。
- 予防課 火災予防及び対策に関すること。
防火管理者の指導育成に関すること。
防火対象物の規制に関すること。
防火対象物の強制執行及び補償に関すること。
消防用設備等の設置及び維持に関すること。
建築許可等の調査及び消防同意に関すること。
危険物の規制に関すること。
危険物製造所等の許認可及び検査に関すること。
危険物災害の調査及び研究に関すること。
立入検査等及び違反処理に関すること。
指定可燃物の安全取締りに関すること。
特殊火災等の原因及び損害の調査に関すること。
所管に係る証明に関すること。
予防関係法令に関する調査及び予防統計報告に関すること。
消防防災の広報に関すること。
その他予防関係に関すること。
- 救急課 救急救助の運用計画に関すること。
救急医療機関その他関係機関との連絡調整に関すること。
救急救助統計に関すること。
救急医療対策に関すること。
患者等搬送事業の指導に関すること。
メディカルコントロール体制に関すること。

警 防 課 警防計画の策定に関する事。事。
水、火災の警戒及び防御に関する事。事。
消防力の配備計画に関する事。事。
消防地理及び水利に関する事。事。
消防関係機関との連絡調整に関する事。事。
警防技術の研究、指導及び訓練に関する事。事。
消防車両等機械器具整備計画及び維持管理に関する事。事。
消防用資機材の整備、補修及びその計画に関する事。事。
各種団体の消防訓練及び指導育成に関する事。事。
警防及び水防訓練に関する事。事。
緊急消防援助隊に関する事。事。
消防対象物の強制執行及び補償に関する事。事。
その他警防に必要な事項に関する事。事。

火災、救急、救助その他災害の受報及び出動（出場）指令に関する事。事。
消防通信の統制及び運用に関する事。事。
消防職員及び消防団員の招集に関する事。事。
通信指令のための情報収集及び調査に関する事。事。
気象情報及び火災警報に関する事。事。
災害情報の収集、連絡、記録及び災害現場への情報伝達に関する事。事。
消防緊急通信指令システムの整備及び維持管理に関する事。事。
消防用無線設備の整備及び維持管理に関する事。事。
消防通信の統計及び報告に関する事。事。
非常用電源の確保に関する事。事。
通信技術の調査研究及び研修に関する事。事。
火災その他災害等の即報に関する事。事。
その他通信指令に必要な事項に関する事。事。

4. 消防署・出張所の事務分掌

- 庶務担当 公印の取扱いに関する事。
職員の出張、研修及び福利厚生に関する事。
予算その他経理に関する事。
物品の出納及び保管に関する事。
文書の收受発送に関する事。
その他庶務に関する事。
- 予防担当 火災予防及び対策に関する事。
防火対象物の予防査察及び指導に関する事。
防火管理者の指導育成に関する事。
火災予防条例に基づく各種届出の受理に関する事。
消防用設備等の点検報告に関する事。
危険物災害の調査報告に関する事。
予防関係法令に関する調査及び予防統計報告に関する事。
火災の原因及び損害の調査報告に関する事。
火災の統計報告に関する事。
放失火の証拠保全と関係機関等への連絡に関する事。
高圧ガス消費場所の立入検査に関する事。
液化石油ガス設備工事の届出の受理に関する事。
り災証明に関する事。
その他所管に関する事。
- 警防担当 災害の警備に関する事。
消防計画に関する事。
消防地理及び水利に関する事。
消防機械器具並びに消防通信の運用及び保全に関する事。
自衛消防隊等の指導育成に関する事。
警報等の発令伝達に関する事。
道路障害等に関する事。
救急救助出動に関する事。
救急救助訓練及び教養に関する事。
救急救助統計に関する事。
救急救助資機材の維持管理に関する事。
非常用電源の確保に関する事。
救急講習に関する事。
救急搬送証明に関する事。
開発行為の同意に関する事。
少年消防クラブ及び婦人防火クラブに関する事。

5. 位置及び地勢

当地域は、沖積層からなり、松山平野の南西に属し、中予地区の中心部即ち愛媛県の略中央部に位置し、東西28kmの山間、中山間部（79%）より平地、海岸部（21%）に至る複雑な自然的地理条件を有し、その面積は316.41km²であり、このうち市街地又は最大密集地面積は20.3km²である。

6. 消防機関配置図

(8.4.1 現)



7. 行政区域別地目別面積

(8.4.1 現)

区 域	地目別							合 計
	水 田	畑	宅 地	山 林	雑種地	その他		
伊 予 市	12.13	35.92	7.46	106.51	2.13	30.28	194.43	
松 前 町	8.12	0.67	5.76		0.81	5.02	20.38	
砥 部 町	2.32	14.47	3.41	66.39	0.79	14.22	101.60	
合 計	22.57	51.06	16.63	172.90	3.73	49.52	316.41	

(km²)

8. 行政区域別人口及び世帯数

(8.4.1 現)

区 域	人 口		世 帯 数	
	項 目		項 目	
	2年国勢調査	8年4月1日	2年国勢調査	8年4月1日
伊 予 市	35,133	34,559	14,161	16,331
松 前 町	29,630	29,894	11,898	14,001
砥 部 町	20,480	19,948	8,477	9,616
合 計	85,243	84,401	34,536	39,948

9. 歴代組合長

(8.4.1 現)

年代	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	玉本善三郎	自昭和47年11月16日 至昭和50年2月2日	2年4ヵ月	市長兼務
2代	岡本要	自昭和50年3月6日 至平成7年2月2日	20年0ヵ月	〃
3代	増野英作	自平成7年3月2日 至平成11年2月2日	4年0ヵ月	〃
4代	中村佑	自平成11年3月4日 至平成25年4月23日	14年2ヵ月	〃
5代	武智邦典	自平成25年4月24日 現在に至る	年ヵ月	〃

10. 組管理者

(8.4.1 現)

区分	職名	氏名	備考
管理者	組合長	武智邦典	伊予市長
	副組合長	田中浩介	松前町長
	副組合長	古谷崇洋	砥部町長

11. 消防職員の階級別実員調

(8.4.1 現)

階級別 署所別	階級別							合計
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
消防本部	1	5	7	6	7	0	6	32
伊予消防署		1	9	9	11	5	7	42
中山出張所			1	1	3	3	1	9
双海出張所			1	1	3	2	2	9
松前消防署		1	3	8	7	6	5	30
砥部消防署 (広田出張所 含)		1	5	9	7	7	6	35
合計	1	8	26	34	38	23	27	157

12. 伊予消防等事務組合当初予算（消防費のみ）

区 分 費 目	令和7年度			令和8年度			令和2年 国勢調査 人口
	予算額	比 率	人口一人当り 当初予算額	予算額	前年比	比 率	
議 会 費	千円 2,024	% 0.1	円 24	千円 2,160	% 6.7	% 0.1	円 25
総 務 費	21,472	1.2	252	23,263	8.3	1.3	273
消 防 費 (公債費、予備費含)	1,830,771	98.7	21,477	1,768,341	△ 3.4	98.6	20,745
合 計	1,854,267	100.0	21,753	1,793,764	△ 3.3	100.0	21,043

13. 令和8年度伊予消防等事務組合予算節別内訳表（消防費のみ）

（単位：千円）

歳 入		歳 出			合 計	
科 目	予 算 額	目 科	議 会 費	事 務 局 総 務 費		消 防 本 部 ・ 消 防 署 消 防 費
分担金及び負担金	1,693,868	報 酬	446	190		636
使用料及び手数料	3,304	給 料		7,127	633,159	640,286
財産収入	1,650	職員手当等	150	5,457	518,457	524,064
繰入金	15,000	共 済 費		1,973	220,104	222,077
繰越金	1	報 償 費		360	35	395
諸収入	3,941	旅 費	1,450	751	1,558	3,759
消 防 債	76,000	交 際 費	50	100		150
		需 用 費	64	366	112,175	112,605
		役 務 費		1,014	12,996	14,010
		委 託 料		1,695	26,892	28,587
		使用料及び借借料		4,158	9,640	13,798
		工 事 請 負 費			52,041	52,041
		原 材 料 費				
		備 品 購 入 費			43,756	43,756
		負担金、補助及び交付金		72	25,729	25,801
		積 立 金			3,642	3,642
		公 課 費			1,019	1,019
		計	2,160	23,263	1,661,203	1,686,626
		公債費			92,366	92,366
		利 子			9,772	9,772
		予 備 費			5,000	5,000
合 計	1,793,764	合 計	2,160	23,263	1,768,341	1,793,764